

第13回市議会定例会

令和3年度予算総額1,343億1,646万3千円を可決

(一般会計予算は788億7,500万円、特別会計予算は327億1,297万9千円、
企業会計予算は227億2,848万4千円)

付議事件の審議終了により会期を1週間短縮し閉会

第13回市議会定例会は、2月18日(木)から3月19日(金)までの30日間を予定していましたが、休会の日であった3月12日(金)に会議を行い、付議事件の審議終了により、会期を23日間に短縮し、閉会しました。

今定例会においては、報告2件、議案32件、要望意見書3件などの審議が行われ、「令和3年度各会計予算案」などが可決されました。

基本政策である市民によるまちづくりの推進、健全な行財政運営の推進、3年度の重点施策である持続可能なまちに向けた都市機能の強化、地域経済をけん引する力強い産業の展開、地域で活躍する“ひと”を育むまちの形成、さらに総合計画の体系に基づく5つのまちづくりの目標に沿って、令和3年度の主要施策を掲げた市長の市政方針及び教育長の教育行政執行方針に対し、6党派6名の議員が代表質問に立ち、新型コロナウイルス感染症対策、行政組織の活性化、国際リゾート構想、児童虐待防止、少人数学級の推進、学校の働き方改革などについて議論が行われました。

また、各常任・特別委員会では、第2期苫小牧市特定事業主行動計画～Change Work Style～、第6期苫小牧市障がい福祉計画、苫小牧市公設地方卸売市場経営戦略(素案)、日新地区における熱供給事業、苫小牧都市再生コンセプトプラン概要版(案)、(仮称)苫小牧市民ホールなどについて質疑が行われました。

今定例会で審議された主な内容と結果は次のとおりです。

◆報告

一般会計予算審査特別委員会の審査結果は、全会一致で委員長報告どおり決定されました。また、企業会計予算審査特別委員会の審査結果のうち、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計及び介護保険条例の一部改正については、賛成多数で委員長報告どおり決定され、その他の特別・企業会計は全会一致で委員長報告どおり決定されました。

◆議案

(人事案件)

苫小牧市固定資産評価審査委員会委員の選任について、引き続き伊藤芳一氏、今成智宏氏、邨山達哉氏を選任することに同意しました。

(令和2年度補正予算)

令和2年度補正予算は、一般会計では、ふるさと納税寄附件数の増加に伴い要する経費としてふるさと納税普及事業費5,523万4千円の増額、国補助の追加交付に伴いマイナンバーカード交付に要する経費として戸籍住民登録事務経費8,723万6千円の増額、国のワクチン接種事業に伴う接種会場の設置等に係る経費で全額国の補助金で行う新型コ

コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 7, 073 万 5 千円の増額、国庫補助金の追加配当に伴い事業の前倒しによる青翔中学校校舎増築事業費 4 億 5, 773 万 2 千円の増額と合わせて繰越明許費の設定などについて原案どおり可決されました。また、国の補正予算により、令和 3 年度当初予算から前倒して計上する新第 2 学校給食共同調理場整備事業費 1 4 億 4, 599 万 2 千円の補正などについても、原案どおり可決されました。

特別会計では、国民健康保険事業会計で、減免による保険税償還金の減などによる 9, 238 万 9 千円の減額補正、介護保険事業会計で、介護サービス等諸費の減などによる 1 億 3, 466 万円の減額補正、後期高齢者医療会計で、後期高齢者医療広域連合納付金の増などによる 1, 509 万 9 千円の増額補正について、原案どおり可決されました。

企業会計では、水道事業会計及び下水道事業会計で、資本的支出の事業費確定に伴う減などによる補正、市立病院事業会計で、収益的支出の給与費の減などによる補正、公設地方卸売市場事業会計で、収益的支出の市場管理費の減などによる補正について、原案どおり可決されました。

(令和 3 年度予算及び関連議案)

・一般会計

令和 3 年度一般会計の予算は、一般会計予算審査特別委員会に付託され、委員会において全会一致で原案どおり可決されました。これにより一般会計の総額は 788 億 7, 500 万円となりました。

・企業会計

令和 3 年度特別会計及び企業会計の予算は、企業会計予算審査特別委員会に付託され、委員会において、介護保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計及び介護保険条例の一部改正については、賛成多数で、その他の特別・企業会計は全会一致で原案どおり可決されました。

これにより、国民健康保険事業など 3 特別会計の総額は 327 億 1, 297 万 9 千円、水道事業など 4 企業会計の総額は 227 億 2, 848 万 4 千円となりました。さらに関連議案の、保険料率を改定する等のため関係規定を整備する介護保険条例の一部改正についても、原案どおり可決されました。

(令和 3 年度補正予算)

一般会計は、新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施に伴う接種委託料等の経費として、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費 4 億 2, 833 万 3 千円の増、地方創生臨時交付金を活用し実施する創業促進・商業にぎわい事業費 5, 111 万 5 千円の増、プレミアム付商品券事業費 5 億 5, 326 万 9 千円の増、また、国の補正予算により、令和 2 年度補正予算へ前倒しするため、新第 2 学校給食共同調理場整備事業費 1 4 億 4, 599 万 2 千円の減などの補正について、原案どおり可決されました。

企業会計は、水道事業会計及び下水道事業会計で、事業継続支援事業の給付金対象者向けに実施する水道料金と下水道使用料の減免に伴う補正と一般会計からの繰入金による財源更正の補正について、原案どおり可決されました。

★令和3年度一般会計の主な新規事業

市議会ICT化事業、立地適正化計画策定事業、ペーパーレス会議システム事業、とまチョップ生誕10周年記念事業、都市再生プラン推進事業、高齢者安全運転支援装置設置促進事業、津波ハザードマップ更新事業、ふくし大作戦Ⅳ2021、生物多様性推進事業、就職氷河期世代就職応援事業、苫小牧市事業承継推進事業、再生可能エネルギー基本戦略構築事業など

(条例の一部改正ほか)

新型コロナウイルス感染症の法的位置付けの見直しに伴い当該感染症の定義を変更するため、関係規定を整備する「苫小牧市一般職の職員の給与に関する条例及び苫小牧市国民健康保険条例」の一部改正、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の改正に伴い、関係規定を整備する「苫小牧市手数料条例」の一部改正、新たにトレーニング機器の使用料を定める等のため、関係規定を整備する「苫小牧市植苗ファミリーセンター条例」の一部改正、対象火気設備等である急速充電設備の出力範囲が拡大されたことに伴い、関係規定を整備する「苫小牧市火災予防条例」の一部改正について、原案どおり可決されました。

また、「市道路線の廃止」、「市道路線の認定」について、原案どおり可決されました。

このほか、本会議の欠席事由として育児等を明文化するとともに、市議会に対する請願に係る署名押印の見直し等のため関係規定を整備する「苫小牧市議会会議規則」の一部改正、議会の委任による専決処分の対象から、審査請求その他の不服申立て、和解、あっせん、調停及び仲裁に関するものを除外する等のため、関係規定を整備する「地方自治法第180条の専決処分について」の一部改正についても、原案どおり可決されました。

◆意見書

「オンライン本会議の実現に必要な地方自治法改正を求める要望意見書」、「犯罪被害者支援の充実を求める要望意見書」、「再審法改正を求める要望意見書」が原案どおり可決され、関係機関に提出されました。